

9 月度 (例会) 個人山行報告書		報告者	谷口	参加メンバー	CL 西川 鈴木、館谷、谷口
		報告日	9月集会		
山域	飛騨	山行日	2022/9/4		
山名	沢上谷				
山行目的	例会 沢登り		コースタイム(天候:天気図記号)		

配布先
集会:12
山行:1
リーダー
原紙:集会担当者

ルート図(地図を見て正確に)

25万分の1地図

9/4(日)
曇りのち晴れ

5:00 刈谷発
8:10 P着
8:40 入渓
9:10 五郎七郎滝
10:40 岩洞滝
12:00 蓑谷大滝下部
12:50 蓑谷大滝懸垂下降
13:30 蓑谷大滝上部
14:00 出渓
15:00 P着
18:00 刈谷着

〈山行報告〉

今年の雨は局地的な豪雨が多く、沢の増水具合も見当がつけづらい。そんな中天気予報を見て山行日を日曜日に変更。当日朝東海北陸道を行くとひるがの高原あたりで軽い雨が降っていて不安になるが、高山まで行くと部分的に青空も見え期待が高まる。沢の下部駐車スペースに駐車、準備して出発する。入渓ポイントでは自分たちのほかに車が四台、10人ほどが準備しており、同じペースで歩いてきた。さすが人気の沢である。入渓後、五郎七郎滝、岩洞滝の支流を順番に遡行する。前回来た時よりは水量は多く、倒木も増えている気がするが問題なさそうだ。また全体的にヌメヌメした感じはなく歩きやすい。しかしナメが急になっているところの下りは滑ることもありやや怖い。適宜お互いの手を取り進む。五郎七郎滝はきれいなナメの滝。岩洞滝は滝裏にも入れる激しい滝。岩洞滝で休憩をと思ったが水しぶきと風圧が激しくできなかった。昼頃になると天気も良くなり、少し進んだ日の当たる場所で休憩とした。その後も順調に小さな滝を攻略し蓑谷大滝につく。蓑谷大滝は登れないとはわかっているが登れそうな斜度なので、しばしチャレンジする。適度に乘れそうな突起がたくさんあり焦らず登るのが大切そうだ。最終結果は鈴木さんが一番登っていた。技術も必要だがゴムソールの方がよいのかもしれない。チャレンジはほどほどに、巻き道で蓑谷大滝上部へ出る。そして鈴木、館谷、谷口の三人は50mダブルロープを出し、蓑谷大滝を懸垂下降する。蓑谷大滝は上部が垂壁で怖い。下部になり斜度が緩やかになると余裕も生まれテンションは高まる。滝は45mほど、こんなに高い距離を降りたのは初めてかもしれない。楽しい懸垂下降を終え、再度巻き道で登り返し、蓑谷大滝より先はゆるいナメに行く。ほどなく小さな支流を林道方面へ遡行、最後はススキ林を藪漕ぎし林道に出た。4kmほど県道を歩き、無事下山。ゆるく楽しめた沢登りでした。

確認(リーダー)
西川
作成(報告者)
谷口

〈リーダー所見〉

例会ということで初心者向けの沢を選んだつもりだったが、参加者は僕以外上級者揃い。物足りないかと心配したが、水量も多く見所の多い沢なので楽しんでもらうことが出来てホッとした。通常の登山と違う楽しみ満載なので興味ある方は今回メンバーにお声かけ下さいね。



五郎七郎滝



岩洞滝



蓑谷大滝に挑む人たち



蓑谷大滝を懸垂下降